

上川口小学校

「笑顔と意欲に満ち

共に学び高め合う 児童の育成」

校長 今津 一志

◆はじめに

本年度は、12名の新入生を迎え、全校児童50名、教職員13名、7学級(特別支援学級2学級を含む)編制で教育活動がスタートしました。

登校時、1年生の手を取り少しペースを落として登校している子ども、運動会に向けて休み時間に一輪車練習に取り組む友だちに手を差し伸べる子ども、敷地内にある被爆の碑に頭を下げ手を合わせ登校してくる子どもも…、

子どもたちのやさしさ、すなおさ、温かさを感じられる様子が見られます。一人ひとりの良さや可能性をまっすぐに大き



く育んでいくことへの思いを強くしています。

◆学校教育目標に向けて

「笑顔と意欲に満ち 共に学び高め合う児童の育成」
協働と創造くを学校目標に掲げ、授業を通して子どもたちの力・学力を伸ばすことができるよう教職員が力を結集し教育実践に努めています。子どもたちや保護者・地域の皆さんの期待に応え、いっそう信頼関係を高めていきたいと思えます。

▽私たちの指導力向上に向け

子どもたちのより良い将来に向けて、基礎的・基本的内容を身に付け、考え判断し伝える力(思考力・判断力・表現力など)や、問題を解決する力を育み、一人ひとりの自己実現につなげていくことが求められます。子どもたちに身に付けてほしい力を明確にし、そうした力をつける授業(めざす授業)に向けて、1年生から6年生へと学びを積み上げていくことができます。よう、全学級担任が授業を行い、互いに見合い、指導力の向上につなげています。5月には、研究主任の授業

を参観し、めざす授業への一歩としています。あわせて、問題解決へ向かう意欲や粘り強く取り組んだり協力したりする姿勢、コミュニケーション能力など、思いや姿勢・態度を大切に育んでまいります。

▽学びに向かう姿勢

授業において学習に向かう姿勢の基本は「聞く」ことだと思えます。姿勢を正して話し手の方を見て聞く。話し手の意図を考えながらやさしく聞く。全校で大切にに取り組んでいます。



▽見つけパワーアップタイム

掃除班のメンバー(1年生から6年生の異年齢の5人、6人)が集まって15分間自主学習(見つけ勉強)に取り組みます。上級生の取り組み内容を目を通し、下級生



に声をかけたり教えてあげたりする姿が見られます。短い時間ですが教室がシーンと静まり、全員が集中して取り組んでいます。家庭学習のいっそうの習慣化とレベルアップにつなげていきたいと考えています。

◆生活・学習に向かう意欲(基盤)となる心を育む

目標をもって、なりたい自分に向かつて進んでいくためには、安心・安全を、そして周りの人から認められていることを感じられることが、大きな力となります。自己有用感を感じられる関わりを、日々の授業、活動の中で大切にしていきたいです。

▽なかよし朝会

毎週木曜日、児童会が中心となって全校児童が参加できる遊びや活動(鬼ごっこ、ドッジビー、〇〇と言えど)を考え、朝会時に実施しています。子どもたちの歓声が響き笑顔が広がります。

▽ありがとうの花

友だちとの関わりでうれしく思ったことを紙に書いて伝えていきます。それぞれ

が紙に書いた花びらをはって「ありがとうの花」として掲示しています。「教えてくれてありがとう」、「助けてくれたありがとう」、「遊んでくれてありがとう」。感謝の思いを伝えることで、伝える方も伝えられる方も、互いにかけてがえのない自分を感じ、優しさを育んでいくことができると思えます。



ありがとうの花

友だちへ感謝の思いを伝えます

◆おわりに

この夏は10年に1度の猛暑といわれています。夏休みを迎え子どもたちは、朝の学習、音楽練習、水泳の特別練習にと精一杯取り組んできました。家庭のご協力に感謝します。子どもたちの成長に向け、保護者や地域の皆さんと手を携え、職員一同取組を進めてまいります。

南郷小学校

「いつも笑顔で元気です」

校長 徳弘 茂生

本校は、児童数57名、家庭数35家庭、教職員数14名で、さまざまな教育活動を通して、子どもたちはそれぞれの個性を発揮・躍動する日々を過ごしています。

「とにかく元気やねえ」

本校の子どもたちを評してこういう言葉をよく聞きます。そんな本校の学校教育目標は、『いつも笑顔で元気です』。そして、この目標の成就をめざす日々の取組の要点が次の4点です。

- ①学力の定着および資質・能力の育成
 - ②良好な人間関係づくりの実現
 - ③心身の健康づくりの実現
 - ④家庭・地域とともに育む教育活動の実現
- やはり、大人と同様、子どもたちも日々「いつも笑顔」というわけにはいきません。勉強がよくわからないことも、身の周りの人間関係が上手くいかないことも、生活習慣が不規則になること

も、当然あります。

これらの課題は、子どもたち同士「お互いさま」の心で協力して、「子どもたち自身での解決をめざす力」を身に付けてほしいと思っています。

一方で、それでも上手くいかない時こそ、教職員や保護者・地域の皆さんの力の発揮どころであり、思いを交わし合い、協働してよい良い方向に導きたいと思っています。このような「三位一体」となった取組を重ねて、日々、子どもたちが生来有する「よさ」や「可能性」を伸ばす支援や指導を、そして再び笑顔になれるように関わり続けていきたいと思っています。

後半は、地域の方々や保護者の皆さんに、日ごろの感謝の意を込めて、たくさんある子どもたちのための活動の中でも、10年以上の伝統がある2つの活動を紹介させていたいただきたいと思っています。

◆地域の一人ひとりが子どもたちを見守り、育んでいます

1つ目は、「登下校時の見守り活動」。本校近辺の交差点で、朝夕の通学時間帯に黄色い旗を持った皆さんが見守っている姿や、また、異年齢で登校する子どもたちと一緒に歩いている姿をよく見かけられると思います。

子どもたちは、一緒に登校してくれる方が来校すると「〇〇さんどうしたか」と直接尋ねたり、「□□さんに◎◎渡すが」と言ってプレゼントを用意したりすることがあります。このような言葉かけや行動から、普段から愛着をもって接していることが伺えます。

また、5月に本校区で不審者事案が発生した際に、登校してきた児童が迎えに来た私に言った言葉が、「1人の不審者で、こんなにたくさんの方が来てくれるがやね」でした。その言葉に、いつも子どもたちが会うこととは異なるような方々からも見守られている安心感や、いつも見守ってくれている方々はじめ、地域の皆さん

に対する感謝の思いでいっぱいになったことを鮮明に覚えていきます。

また、この際2週間にわたる保護者の皆さんによる同伴登校、そして、当該区長さんの有線放送による呼びかけなど多くの皆さんに厚いご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

◆毎週、絵本やお話の世界を想像して楽しんでいきます

2つ目は、本校では恒例の「毎週金曜日の読み聞かせ朝会」。

南郷近辺にお住まいの方々や保護者が、自ら選んだ本を情感たっぷりに読み聞かせていただいています。

毎週行っているにも関わらず、子どもたちがいつも集中して聴いているのは、きつと本が、本の世界が大好きな読み手の思いが、毎回真つすぐに一人ひとりに響いているからだと思えてなりません。

朝会終了後、読み手の皆さんが談話室に集い、読んだ本の紹介や子どもの反応を語り合うひとときも素敵です。

地域や保護者の皆さんには、子どもたちの安心安全や、よさ・可能性・無邪気な笑顔を引き出す多様な活動を、これからもよろしくお願ひします。

